

F-a-5 環境会計

2012年(株)堀場製作所の環境会計は、環境保全コストで事業エリア内コスト中の地球環境保全コストが、2011年に比べ137%増加しました。これは工場棟照明のLED化や事務棟屋上防水・遮熱工事などを実施したことによるものです。一方環境保全効果は、総エネルギー投入量、温室効果ガス排出量など11項目が2年連続して前年度に比べ減少しました。これは節電・省エネ対策の直接・間接的な効果が表れたものと見ています。

集計上の基準

- 1) 投資、費用の区分：財務会計上の区分に準拠。
- 2) 費用：人件費、経費・調査費等を含む。減価償却費は含まない。
- 3) i) 人件費：当社基準労務単価に環境保全の業務工数をかけて算出。
ii) 研究開発経済効果金額：環境配慮製品の営業利益貢献度より算出。
- 4) 環境省環境会計ガイドライン 2005年度版に準拠し集計。

環境保全コスト(事業活動に応じた分類)

集計範囲：(株)堀場製作所 本社工場・びわこ工場およびセールスオフィス13拠点・研修所、(株)堀場テクノサービス サービスステーション26拠点
対象期間：2012年1月1日～2012年12月31日

単位：百万円

環境保全コスト (事業活動に応じた分類)						経済効果 (社内効果)		
分類	主な取組の内容	投資額	費用額	合計	前年比較 %	金額効果 M¥	項目	
(1) 事業エリア内コスト		29.3	62.6	91.9	130.3	110.5		
内訳	(1)-1 公害防止コスト	既存の大気・排水設備の維持・メンテナンス、予防保全活動。	0.0	7.2	7.2	110.8	12.9	設備の節電、効率運用効果
	(1)-2 地球環境保全コスト	空調エネルギー転換、運転設備の省エネ転換推進など。	29.3	7.8	37.1	237.1	33.3	省エネ設備転換、設備改造、節電活動効果
	(1)-3 資源循環コスト	節水、ゼロエミッション活動の推進	0.0	47.6	47.6	98.2	64.3	水使用削減など
(2) 上・下流コスト	グリーン購入の推進、使用済み製品の回収・リユース推進など。	17.0	10.5	27.5	123.1	6.7	グリーン購入の推進、製品の回収再使用	
(3) 管理活動コスト	環境マネジメントシステムの運用効率改善、環境教育推進など。	0.0	90.8	90.8	90.6	1.9	環境広告等による効果	
(4) 研究開発コスト	環境適合設計推進、鉛フリー化取組みなど。	120.0	635.6	755.6	121.2	735.7	環境配慮対応製品の拡大、営業利益への寄与	
(5) 社会活動コスト	環境技術の普及啓発活動積極推進等。	0.0	14.8	14.8	94.9	0.2	環境改善活動の支援、啓発活動の推進	
(6) 環境損傷対応コスト	該当なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	該当なし	
環境保全コスト 合計		166.3	814.3	980.6	117.8	855.0		